

宮城広瀬高校便り

ちから

もり

力は杜に ～秋号～

令和5年11月24日発行

宮城県宮城広瀬高等学校

仙台市青葉区落合4丁目4-1

TEL:022-392-5512

FAX:022-392-5513

夏は猛暑が続き、10月にはとても衣替えなどできないのではないかと誰もが思っていました。衣替え移行期間を10月第4週まで延長したのですが、打って変わって一気に涼しくなってきました。どんなに夏が暑かろうとも、どんなに冬が厳しかろうとも、季節は確実に進んでいくのです。この確実さには私たち人間は決して抗うことはできないのだと実感する今日この頃です。

～広高祭完全復活～

9月1日(金)2日(土)の2日間にわたり、広高祭を行いました。令和2年度のコロナ禍以来初めての一般公開を伴った文化祭です。「広高祭完全復活」というテーマが期待の大きさを表していました。3年前の文化祭

のことを知っている在校生は一人もいません。教職員もかなり入れ替わりました。まさに新たな文化祭を作り上げる取組みとなりました。



初日は校内発表でした。吹奏楽部のステージ発表から始まり、各文化部のステージ発表、有志団体の発表を行いました。猛暑の体育館の中

での活動でしたが、それぞれの団体が工夫を凝らして発表を行いました。午後からは有志団体の発表や2日目に向けての準備など、一生懸命に取り

組む様子が見られました。夕方からは恒例の打ち上げ花火イベントを行いました。今年は昨年よりも長く豪華な花火でした。間近で見る花火の迫力と美しさに大いに魅了されたことでしょう。



2日目は待望の一般公開です。令和元年度に行って以降4年振りです。3年生の各クラスは模擬店を、文化部はそれぞれの活動の発表を、そして有志団体は思い思いの発表を行いました。午後1時までという限られた時間でしたが、天候にも恵まれ無事盛況に終わりました。3年生にとっては高校生活で最初で最後の本格的な一般公開でした。1・2年生は今年度の経験をもとに来年はより一層の活躍を期待しています。そして、事実上初めての文化祭を作り上げるために、夏休み前から企画、運営に携わってくれた文化祭実行委員に心からの感謝を伝えたいと思います。



～第2回学校説明会～

10月11日(水)には第2回の学校説明会を行いました。第1回と同様に教育課程や入試についての説明、進路状況の説明、部活動や学校行事の紹介と続き、その後は、在校生の案内による校舎見学、部活動見学を行いました。また、あわせて生徒会による交流会、個別の進学相談会も行いました。在校生の丁寧な対応について好意的な感想が多く寄せられました。

～芸術鑑賞会～

10月13日（金）には東京エレクトロンホールにて4年振りに芸術鑑賞会を行いました。コロナ禍以降、学年ごとに校外に出ることはあっても、全校生徒で校外に出る経験はありませんでした。生徒たちはほとんど迷わず時間通りに集合し、行事を満喫していたようです。

今年度の芸術鑑賞会は落語鑑賞でした。テレビでは何度も見たことがありますが、巧みな話術や扇子を利用した芸を生で間近で見る機会はそう多くはありません。生徒の代表数名がステージに上がり、扇子を利用して思い思いに麺類をすすむ体験をするシーンは大いに盛り上がり、学年関係なく拍手喝采でした。

～創立40周年記念式典～

11月1日（水）仙台サンプラザホールにて、教育長や歴代校長をはじめ多くの御来賓をお招きし、創立40周年記念式典と記念講演会を行いました。昭和58年に宮城農学寮の跡地に開校した宮城広瀬高校もすでに40年を経過し、今年度で41年目を数えます。開校以来体験学習に力を入れていましたが、インターンシップ活動やボランティア活動の活性化へと繋がり、今では単位認定を行うまでに定着しています。部活動では吹奏楽部、バスケットボール部、弓道部など多くの部が全国大会へ出場してきました。

本校を卒業した同窓生は11,000人を超え、県内のみならず、広く全国や海外で活躍しています。



40年間にわたり教育活動を継続することができたのも、歴代の教職員や同窓会、PTAの皆様、そして何よりも地域の皆様の暖かい御支援の賜物です。生徒会長の誓いの言葉の中にも、諸先輩方や地域の皆様への感謝の気持ちと、伝統を引き継ぎ新たな魅力を作り出していくという決意が強く表れていました。引き続き御指導、御支援の程よろしく願いいたします。

記念式典の後は、楽天イーグルス元球団社長で現在は日本一おいしい寿司屋として有名な株式会社塩釜港の社長の立花陽三様をお迎えし講演会を行いました。楽天イーグルスの名監督として名高い星野仙一氏や野村克也氏をはじめ、成功を勝ち取った様々な人々を取り上げ、やりたいことにひたむきに取り組むことや、既成概念にとらわれずにチャレンジすること、そして夢を持つことが人生を豊かにしていく鍵になるのだということを知りやすく教えていただきました。「チャレンジこそ人生」という演題の示す通り、聞くもの全てをポジティブな気持ちにさせる素晴らしい講演でした。途中からは現球団社長の森井誠之様も御登壇いただき、大変豪華な講演会となりました。

40周年記念事業として、開校以来使用してきた生徒用のロッカーを更新することとし、10月下旬に工事を行いました。一人一台貸与されているタブレット端末を収納できるようにした結果、従来のロッカーよりも一回り大きくし、廊下の窓が少し隠れるくらいになりました。後輩たちに末永く受け継いでいくロッカーです。大事に丁寧に使っていきましょう。

